

2026年5月21日

各 位

会 社 名 日 本 金 銭 機 械 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 上 東 洋 次 郎
(コード番号：6418 東証プライム)
問 い 合 せ 先 専 務 取 締 役 高 垣 豪
電 話 (06) 6643-8400 (代表)

中期経営計画「JCM Global Vision 2032～Next Growth Stage～」の策定に関するお知らせ

当社は、新たに2028年度（2029年3月期）を最終年度とする中期経営計画「JCM Global Vision 2032～Next Growth Stage～」を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

中期経営計画「JCM Global Vision 2032～Next Growth Stage～」の概要

今回策定した中期経営計画「JCM Global Vision 2032～Next Growth Stage～」(以下、「本中期経営計画」という。)は、2023年5月10日に公表した2025年度（2026年3月期）を最終年度とする中期経営計画「JCM Global Vision 2032」(以下、「前中期経営計画」という。)において掲げた長期ビジョン「2032年のありたい姿」の基本方針を踏襲しつつ、その後の業績進捗及び事業環境の変化を踏まえた更新を行ったものであります。

【基本方針】

今後の持続的な成長を見据え、当社は前中期経営計画において、「2032年のありたい姿」の実現に向けた基本方針及び重点課題を明確にしており、本中期経営計画においても、引き続き当社のありたい姿の実現に向け、各施策を着実に推進してまいります。

- ①「多様化するマネートランザクション（代金決済）分野において、お客様へ信頼を提供し続ける企業であり続ける。」
- ②「新たな事業領域においてもブランドカンパニーたる地位の確立を目指す。」

本中期経営計画における3年間は、これらの当社の2032年のありたい姿を実現するために、前中期経営計画3年間において取り組んだ「種まき」の成果を商業事業の収益基盤へ転換する期間と位置付けております。

当社の主力事業であるグローバルゲーミング事業の安定収益を基盤に、商業事業を次なる収益の柱として確立するとともに、事業ポートフォリオ、資本配分、人材及びサステナビリティの各領域を強化し、企業価値の最大化を図るものであります。

そのための重点施策等は以下のとおりであります。

【重点施策】

「既存事業の安定収益を基盤に、成長投資・事業変革・経営基盤強化を通じて、企業価値を最大化する。」

- ①既存事業の拡大
- ②新たな収益基盤の構築
- ③事業ポートフォリオ変革
- ④規律あるキャッシュアロケーション
- ⑤人財戦略・人的資本強化
- ⑥サステナビリティマネジメントの高度化

【2032年度の事業規模】

売上高 55,000百万円 営業利益 5,500百万円

【本中期経営計画の定量目標】

今後3年間の連結業績

(単位：百万円)

	2026年度 (2027年3月期)	2027年度 (2028年3月期)	2028年度 (2029年3月期)
売上高	39,000	41,000	42,000
営業利益	3,000	3,700	4,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,300	2,600	2,900

【主な経営指標】

- ・売上高 (CAGR) : 10% (2025年度～2028年度)
- ・営業利益率 : 10% (2028年度)
- ・ROE : 8% (2028年度)
- ・海外コマース事業売上高比率 : 38% (2028年度) ※2025年度 : 15%

【配当方針】

当社は、これまでは配当方針について「連結配当性向30%以上を基本に、純資産配当率にも配慮」して決定することとしておりましたが、本中期経営計画に基づき、業績拡大に取り組むなか、株主の皆様への利益還元のため、今後の配当方針を「連結配当性向50%以上」に変更いたします。

なお、本中期経営計画の詳細は、当社ウェブサイト「[中期経営計画](#)」をご覧ください。

以 上